

報恩抄

御文①

御書新版……254^字 13行目〜14行目
御書全集……324^字 9行目〜11行目

今の法華経も、またもってか
くのごとし。如是我聞の上の妙
法蓮華経の五字は、即ちすなわ一部八
卷の肝心、またまた一切経の肝
心、一切の諸もろもろの仏ぶつ・菩薩ぼさつ・二に
乗じょう・天てん・人にん・修羅しゆら・竜神りゆうじん等の頂
上の正法しょうぼうなり。

現代語訳①

今の法華経についても、
まったく同じである。「如是我聞」の上にある妙法蓮華
経の五字は、法華経一部八
卷の肝心にほかならず、同
時にあらゆる経の肝心であ
り、あらゆる仏・菩薩・二乗・
天・人・修羅・竜神などの
頂上に位置する正法である。

御文②

御書新版……257字 13行目〜15行目
御書全集……326字 10行目〜11行目

日蓮が南無妙法蓮華經と弘ひろむ
れば、南無阿弥陀仏の用は月の
か欠くるがごとく、塩干のひるがご
とく、秋冬の草枯のかるるがごと
く、氷にってんの日天解にとくるがごとく
なりゆくを見みよ。

現代語訳②

私が南無妙法蓮華經と弘
めているので、南無阿弥陀
仏のはたらきは、月が欠け
るように、潮がひいていく
ように、秋冬の草が枯れて
いくように、氷が太陽の光
で溶けるように、衰退して
いくのを見なさい。

御文③

御書新版……260字 8行目〜11行目
御書全集……328字 10行目〜12行目

内証ないしやうは同じけれども、法の流布るふは、
迦葉かしょう・阿難あなんよりも馬鳴めみやう・竜樹りゆうじゆ等は勝す
ぐれ、馬鳴等よりも天台てんだいはすぐれ、
天台よりも伝教でんぎやうは超えこさせ給いたり。
世末すえになれば、人の智ちはあさく浅く仏教
は深くなることなり。例せば、軽病きやうびやう
には凡薬ぼんやく、重病じゆうびやうには仙薬せんやく、弱き人
に強きか方と有人つて扶たすくる、これ
なり。

現代語訳③

内面の悟りは同じであるけれども、法の流布においては、迦葉・阿難よりも馬鳴・竜樹の方が優れ、馬鳴らよりも天台が優れ、天台よりも伝教の方が超えられているのである。末法に近づくにつれて、人の智慧は浅く、（教え弘めるべき）仏の教えは深くなるということである。同様の例を挙げれば、軽い病には凡薬（一般的な薬）でよいが、重い病には仙薬（不思議な効力のある薬）でなければ効かず、弱い人には強い味方がいて助けるといふのは、このことである。